

令和5年度第3回スタートアップ戦略会議 議事要旨

令和6年1月22日 オンライン

【富山県の起業支援への取組みについて】

- ・「スタートアッププログラム in 東京」を卒業して起業した方へのフォローアップが必要。また、プログラムの起業状況をアピールすることで、スタートアップを目指す人が増えてくるのではないかと。
- ・県の起業支援事業の全体像をホームページでわかりやすく説明することとともに、X（旧ツイッター）やFacebook等による能動的な広報に取り組む必要がある。
- ・起業の裾野拡大のために、準備、起業、成長、飛躍といった各段階の事業に連続性を持たせ、プログラム等の参加者が次のステップへ目的意識を持って応募できるように事業を進めてほしい。
- ・高校生向けの起業体験プログラムは素晴らしい取組みなので、ぜひ進めていただきたい。
- ・より短期的に起業に繋がると考えられるので、大学生に対する起業家教育やインターンシップにも一層力を入れるべき。

【資金調達について】

- ・地元の金融機関等が中心となってベンチャーキャピタル等を作って、県内で起業するなら地元の金融機関として応援しますよという形で資金を提供することが重要

【T-Startup 募集類型（IPO・M&A型、研究開発型、地域インパクト型）の見直しについて】

- ・T-Startup 選定企業への支援は事業規模によって内容が異なるため、募集にあたり、応募企業にどれぐらいの事業規模を狙うかを考えてもらうべき
- ・IPOを目指す企業と地域インパクトを目指す企業ではビジネスプランが違ふと考えられるので、この2つは分けて募集するべき
- ・SOHOのようなビジネスの延長でIPOやM&Aを目指す会社が出てくる可能性もあるため、スタートアップ支援にあたり県がどこに注力するのか明確にするべき
- ・IPOを目指すかどうかは支援によっても変わるところもあり、募集類型の見直しにはもう少し議論が必要